

■平成27年7月24日 文教くらし委員会県内調査

1 奈良県立奈良西養護学校（奈良市帝塚山西）

【調査目的】奈良西養護学校の取組について

【調査概要】地域との交流等、学校の取組の説明を受け質疑の後、学校施設を見学。

<奈良西養護学校における取組の概要>

- ・平成20年4月、県内で特に知的障害の特別支援学校の児童生徒数が増加する状況の中、県の適正化計画に基づいて、旧富雄高校の跡地を利用して校舎の改修を行い開校した。通学区域は、奈良市西部と生駒市。
- ・地域の人々とふれあいながら「地域と共にある」養護学校を目指している。
- ・現在、小学部、中学部、高等部がある。
在籍児童生徒数：小学部59名、中学部60名、高等部74名、計193名。
- ・開校に伴い地元の反対運動もあったが、地域との関係をしっかりと築いていくということを課題にしながら進んできた。学校が福祉の拠点になればいいのではという流れの中で、自治連合会をはじめ学校に対して応援してくれる雰囲気が高まっている。
- ・学校は住宅地の高台にあり、周りを見渡せる位置、要の位置にある。
- ・帝塚山地域が共生社会の在り方を考える福祉モデル地域になれば、地域の財産だろうということで、地元自治連合会の取組に参加し、お互いに行き来する関係を築くように取組を進めている。
- ・地域内に位置する3つの小中学校、2つの大学とも互いに行き来できるような良い関係づくりができるようにしたい。近隣小学校3校については、PTAと連携し交流会などの行事の交換を進めている。

<質疑応答>

Q：卒業後の進路について、地元の住みなれた地域で過ごせる環境にあるのか。また、在校生について、放課後や夏休みの過ごし方の実態はどうか。

A：在校生については共働き世帯が多く、福祉サービスの利用頻度はかなり高く、事業所サービスは足りていると思う。ただし、卒業後、通う手段という点から考えると事業所を選ぶのに難しい場合もある。最近は利用しながら自分に合ったところを探すように変わってきている。卒業生の9割が福祉事業所に通っている。

Q：特別支援学校の教員への教育や他校との人事交流の状況はどうか。

A：人事交流が4、5年前から始まっており、小中学校（特別支援学級）と特別支援学校間で3年間交流がある。小中学校の教員が特別支援学校で専門性を学び、身につけたことを活かすことになる。



2 平群町立ゆめさとこども園（生駒郡平群町）

【調査目的】 幼保一体化の取組について

【調査概要】 ゆめさとこども園における取組内容の説明を受け質疑の後、各教室を見学。

<ゆめさとこども園の取組の概要>

- ・ 平群幼稚園の駅前事業による移転や南保育園の老朽化による建て替えを迫られていた状況の中、幼児教育が重要視される今の時代にマッチした新しい平群町版教育体制づくりを検討していこうと平成21年度頃から検討に入り、平成27年4月に開園となった。定員199名。最大収容数267名。現在の園児数248名。
- ・ 新たな教育目標に基づく新カリキュラムの実践ができる施設整備を進める。
- ・ 幼児教育の重要性の観点に立つと同時に地域や町立小・中学校との連携を重視して、常にこどもを中心にした園づくりを推し進めることとしている。
- ・ 建物は、扇形をしており、平群の自然環境の中で子供達をやさしく包み込むということを設計のコンセプトとしている。災害時の避難についても、保護者からの要望に応じて、左右両側から避難できる構造にしている。
- ・ 開園当初、園児は同じクラスの中に様々な生活スタイルの子どもがいることに戸惑うこともあったが、徐々に慣れていき、落ち着いてきている。これまで幼保と違う経験を持ってきた子供達同士がいい意味で刺激し合って、成長している。
- ・ 一人ひとりの子どもに応じたきめ細やかな教育が重要であり、実践をしているところである。子供達の情緒の安定を図り、0～5歳児までの育ちを踏まえながら保育と教育を一体的に行うことが園として大きな柱である。
- ・ 職員の勤務形態が多様であることから、全員そろって会議や研修を行うことは難しいが、時間を確保して共通の目標を持って保育・教育を行うことが大事であると考えている。

<質疑応答>

Q：職員は幼稚園教諭と保育士の免許を両方所持しているのか。また、幼稚園と保育所が一体となるにあたって、事前に職員の交流などはあったのか。

A：免許については、ほとんどが両方の免許を持っている。持っていない数名については、5年間の特例措置の期間中に両方取るようには思っている。また、昨年度から3名の人事交流があり、その他にも各園の取組やカリキュラムなどを話し合う交流会がある。

Q：園児数について、定員199名と最大収容数267名の違いは何か。

A：開発許可の関係で200名以内ということだったので、定員199名で建設している。ただ、保育室の面積を広めにとっているのので、法律で定められた一人当たりの面積で見ると最大収容できるのが267名ということである。

